

施策体系の検討

政策企画室

得られたキーワードを整理

アンケート、ヒアリング等で得られたキーワード	包括する概念	考え方
住みやすさの実感 ★★★ 子育て ★★ 道路・交通手段 若者流出 情報発信	定住・移住	- 住みよさの要素である住環境・環境保全・産業振興・雇用創出・賑わいの創出 - 住みよさをブランディングし発信することによる移住・定住の促進
健康と福祉 医療環境 安全・安心 Well - being	[心理的/身体的]安全 社会的包摂	- 健康維持、身体的安全性を確保 - 障がいや困窮、介護に伴う不安の解消 - 災害や犯罪に対する安心感の確保
地域ぐるみの教育 ★★ 郷土愛 ★★★ 地域共生社会 ★★★ 企業と市民の連携 市民の交流 ★★ 全世代 生きがい	市民主体・まなび 協働共創	- 学校教育を中心とした、社会で活躍できる人材の育成 - 生涯学習・文化振興をきっかけにした同世代・多世代交流によるコミュニティ創出
長期的なまちづくり まちの景観・環境	都市経営	- ハード、ソフト両面を併せたまちのリニューアル - 持続可能なまちに向けたリソースの有効活用

★：重複の数を表す

グループ分けされた項目の具体化

包括する概念	イメージの具体化案（仮）	所管課、分野
定住・移住	居心地よさを実感できる、住み続けたいと思えるまち	広報・協働推進室（アピール）、環境政策室、産業振興室、子育て支援室、都市政策室（交通）、建築住宅室（住宅）、都市整備室（公園）、こども未来室（運営）、久保惣記念美術館
[心理的/身体的]安全 社会的包摂	安心して自分らしく過ごすことができるまち	危機管理課、人権・男女参画室、福祉総務課、高齢介護室、障がい福祉課、生活福祉課、広域事業者指導課、保険年金室、くらしサポート課、健康づくり推進室、消防本部
市民主体・まなび 協働共創	互いに助け合い、学び、市民がまちを創るまち	広報・協働推進室（公民）、教育総務課、学校園管理室、学校教育室、こども未来室（育成）、生涯学習推進室、文化遺産活用課
都市経営	いつまでも安定した住みやすさを提供できるまち	政策企画室（FM、IT）、総務管財室、税務室、滞納債権整理回収課、契約検査室、市民室、都市政策室（都政、富まち）、建築・開発指導室、建築住宅室（公共）、都市整備室（道路河川）、土木維持管理室、上下水道部

各項目に分類される施策分野①

定住・移住

居心地よさを実感できる、住み続けたいと思えるまち

アンケート・学識経験者・職員WG・特別職等の意見

	主な現状	主な見通し・課題
産業・観光・雇用・PR	- 企業団地をはじめ特色ある事業者が多く存在している - 商店街など店舗の入れ替わりが停滞している - 人口減少は他自治体と比較して抑制できているが若年層の定住意欲は高くない - 観光とシティプロモーションを分離させ、今後は住みよさを軸にPRを行っていく	- 事業者の今後の撤退が懸念される - 雇用創出と労働力確保のミスマッチが発生している - にぎわいの創出や市内消費の拡大が必要である - 社会人になる時期をはじめ、ずっと市内に住み続けたいと思えたり、一度離れてもまた帰ってきたいと思えるような「住みよさ」をキーとしたまちづくりが必要である
住環境 環境保全	- めざすべき像として住みよいまちが求められておりベッドタウンとして発展してきた - 自然公園や山の恵み、特色ある環境関連事業者が存在している	- 地区によって交通などの生活の不便を感じている - 農林業の人材不足が懸念され環境保全と併せて取組が必要
子育て	- 全国・大阪府と同様に合計特殊出生率が低下している - 地域子育て支援拠点など子育てに関する支援体制強化に取り組んでいる	子育て支援は積極的に取り組んでおり、引き続き市として特色を出し、ニーズに応じていくために病児保育やファミサポなどの支援の充実や地域ぐるみでの支援の在り方が求められる
考え方	- 住みよさの要素である住環境・環境保全・産業振興・雇用創出・にぎわい創出に取り組む - 住みよさをブランディングし発信することにより定住・移住につなげる	

各項目に分類される施策分野①

定住・移住

居心地よさを実感できる、住み続けたいと思えるまち

考え方

- ・ 住みよさの要素である住環境・環境保全・産業振興・雇用創出・にぎわい創出に取り組む
- ・ 住みよさをブランディングし発信することにより定住・移住につなげる

産業・観光・
雇用・PR

1

産業・観光

賑わいが生まれ、市外からも人が来て産業や地域経済の活性化にもつながっている

2

雇用

市内就労や柔軟な働き方など希望する就労ができている

3

PR

住みよく「定住したい、帰ってきたい」と思える

4

交通

年齢や地区に関わらず移動できる

住環境
環境保全

5

上下水道・道路

生活に必要なインフラが整備されている

6

環境保全・農林業

自然が守られ環境にも配慮されている

子育て

7

子育て

結婚・出産の希望を叶えられる

各項目に分類される施策分野②

[心理的/身体的]安全 社会的包摂

安心して自分らしく過ごすことができるまち

アンケート・学識経験者・職員WG・特別職等の意見

	主な現状	主な見通し・課題
安全・安心	- めざすべき都市像として安全・安心が求められている - 地域単位での避難・防災に関する計画の作成を進めている	防災・防犯のための日ごろからの見守り・助け合いの関係性づくりや担い手確保が必要である
福祉・人権	- 市民は高齢者や障がい者が安心して生活できる環境を求めており、市として取組内容を進めているものの市民の実感につながっていない - 障がい・困窮など複合的な課題に対しての対策が求められている	自治会等の地縁団体の加入率が低迷する中、セーフティネットの維持には地縁団体だけでなく、特定のテーマの下で構成される団体など多様な担い手づくりが必要である
健康・医療	- 健康に対する無関心層が存在している - 医療機関は充実している一方、高齢者や障がい者が安心して生活できる環境については重要であるものの市民の実感につながっていない	健康無関心層や高齢者などの健康増進のきっかけづくりが必要である
考え方	- 健康を維持し身体的安全性を確保する - 障がいや困窮、介護に伴う不安を解消する - 災害や犯罪に対する安心感を確保する	

各項目に分類される施策分野②

[心理的/身体的]安全 社会的包摂

安心して自分らしく過ごすことができるまち

考え方

- 健康を維持し身体の安全性を確保する
- 障がいや困窮、介護に伴う不安を解消する
- 災害や犯罪に対する安心感を確保する

安全・安心	1	防災・防犯	災害や犯罪に備え不安を感じず生活できる
福祉・人権	2	人権 男女共同参画	互いに尊重され侵害されずに生きられる
	3	福祉	障がいや生活の貧しさがあっても安心して自分らしく過ごせる
	4	生活支援	いざというときに助けてもらえる
健康・医療	5	健康・高齢 スポーツ	心身ともに健康でいつづけられる
	6	子育て・教育	誰も取り残されず健やかな子ども時代を過ごせる

各項目に分類される施策分野③

市民主体・まなび・協働共創

互いに助け合い、学び、市民がまちを創るまち

アンケート・学識経験者・職員WG・特別職等の意見

	主な現状	主な見通し・課題
生涯学習 文化	市民大学やまなびの手帳・文化施設など精力的に取り組みを継続しており特色になっている	文化施設のリニューアルや持続的な事業実施に向けてあり方の見直しが必要である
協働・共創 コミュニティ	- 地区ごとで地縁団体の活動状況に差があり、コミュニティが衰退しているところも多い - 市民活動支援の見直しを行ったものの新規団体の大幅な増加には至っていない	行政主体の充実したサービス提供を行っているため、市民の積極的な行政参加が減り、まちづくりの担い手が確保できなくなる懸念がある
教育	- SSWの配置や教育現場の業務改善を行ってきたが教育に求められることが多様化・高度化している - 小中学校の統廃合と併せてまちづくりを行っている	- 幼保から中学校まで一貫して教育し、社会へ活躍できる人材育成が必要である - 誰も取り残さないために子どもを地域全体で育てる環境づくりが必要である
考え方	- 学校教育を中心に社会・地域で活躍できる人材を育成する - 生涯学習・文化振興をきっかけにまちの主体を育成する - 同世代・多世代交流によりコミュニティ創出につなげる	

各項目に分類される施策分野③

市民主体・まなび・協働共創

互いに助け合い、学び、市民がまちを創るまち

考え方

- ・ 学校教育を中心に社会・地域で活躍できる人材を育成する
- ・ 生涯学習・文化振興をきっかけにまちの主体を育成する
- ・ 同世代・多世代交流によりコミュニティ創出につなげる

生涯学習・文化

1

趣味や能力を活かしたり、いつまでも学び成長できる

協働 コミュニティ

2

子どもから高齢者まで市民自らがまちの主体になって活躍できる
同世代や多世代が交流し多様なコミュニティが生まれる
市内外の人や事業者がまちづくりにチャレンジでき共創が生まれる

教育

3

社会で貢献・活躍できる人材が輩出される

各項目に分類される施策分野④

都市経営

いつまでも安定した住みやすさを提供できるまち

アンケート・学識経験者・職員WG・特別職等の意見

	主な現状	主な見通し・課題
都市計画・ 資産活用	- 施設の老朽化や適正配置の観点から統廃合等の配置見直しを行っている - まちづくりの観点から施設の機能見直しも行っている	公共施設等の再編（ハード）とコミュニティ（ソフト）を両立したまちづくりが必要である
行財政・ 組織運営	- 財政健全化・組織づくりに向けた取組により財政・組織は改善している - DXの観点から業務見直しを行い、効率的な業務実施に向けて変革に取り組んでいる	- 職員のさらなる意識改革や良好な組織風土づくりが必要 - 基金の効率的な運用や施策の優先順位づけ・見直しに向けたスキームづくりが必要

考え方

- 公共施設の在り方を見直しソフト面と併せてまちをリニューアルする
- 持続可能なまちに向けて変革を起こし、ヒト・モノ・カネを有効活用する

各項目に分類される施策分野④

都市経営

いつまでも安定した住みやすさを提供できるまち

考え方

- 公共施設の在り方を見直しソフト面と併せてまちをリニューアルする
- 持続可能なまちに向けて変革を起こし、ヒト・モノ・カネを有効活用する

都市計画・
資産活用

1

都市計画・
資産活用

公共施設の役割が見直されより必要な機能を備えて活用されている

行財政・
組織運営

2

財政

持続可能なまちづくりに向けて行財政運営がなされている

3

DX

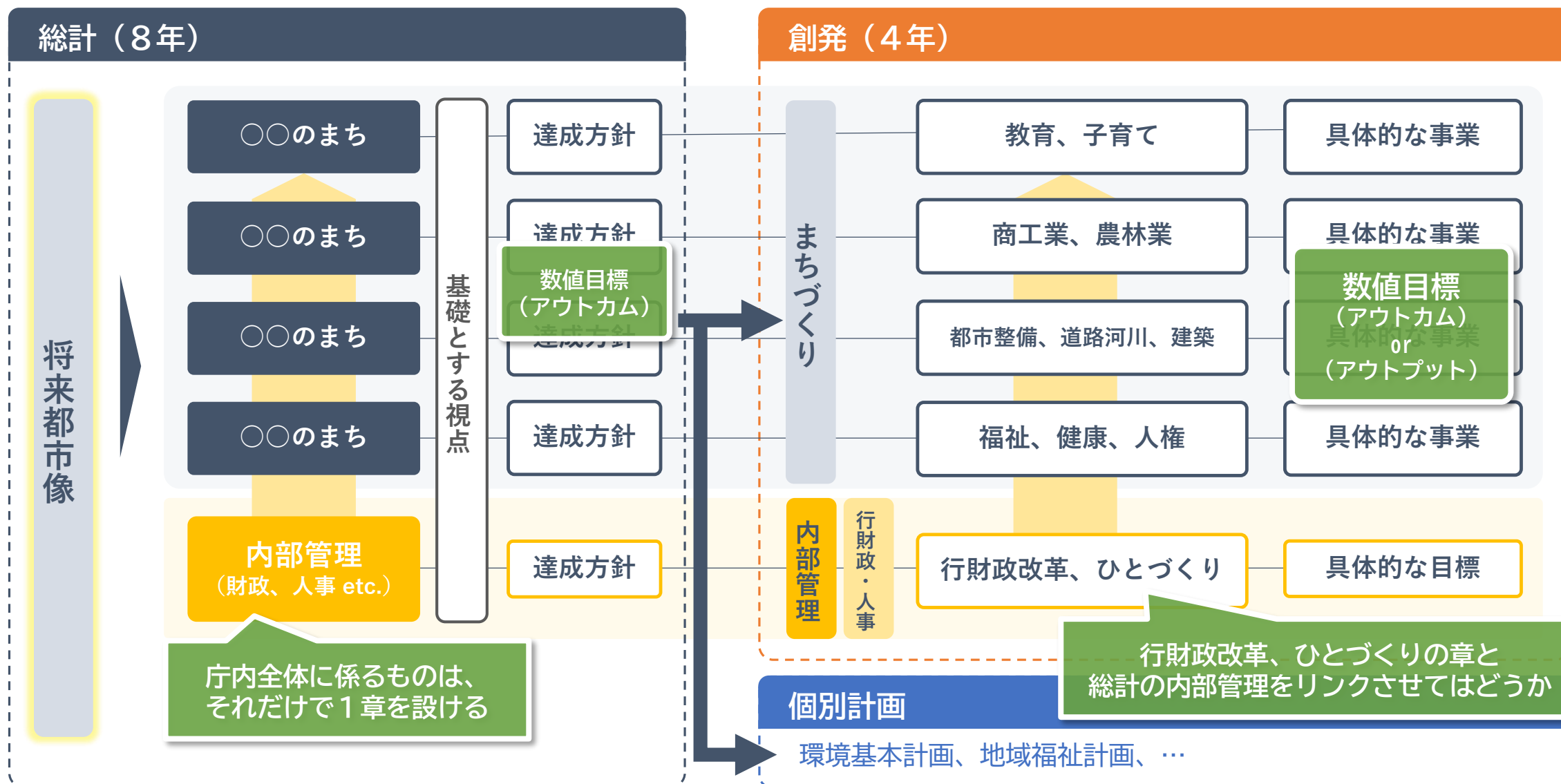
ICTなどの先端技術を活用してより効果的・効率的な施策が実施できている

4

人事

前向きな変革を産む組織づくり・人づくりがなされている

体系図（案）



今回案による体系のイメージ（一部のみ）

